

特別記事

オンラインで「モーツァルト週間」が開催 稀有な成果をあげた2021年

(2021年1月27日～31日ストリーミングのみ)

取材・文中 東生

Text: Shinobu Naka

モーツァルト管、ウィーン・フィル、ヴァン・カイツクSQ

「ストリーミング・モーツァルト週間」が、ローランド・ピリヤソン総裁以下の団結力により、モーツァルト265歳を祝う1月27日から、1日2公演5晩連続で開催された。

モーツァルトの未発表作品をチョ・ソジンが世界初演、そして恒例のザルトブルク・モーツァルト管弦楽団による開幕コンサートは例年より豪華だった。指揮はケリ・リン・ウィルソンで、「交響曲第25番」のあと、マティルデ・カルデリーニとグザヴィエ・ドゥ・メストレを迎えた「フルートとハープのための協奏曲」、司会のピリヤソンとルカ・ピサローニ、ジュリア・セメントツァートがそれぞれコンサート・アリアを歌った。「フィガロの結婚」序曲」を挟んで、サンナと伯爵の二重唱、バジリオもふくむ三重唱で高いレヴェルのアンサンブルを聴かせたあとは、「交響曲第29番」で輝かしい開幕となった。

翌日はライナー・ホーネック、アルペナ・ダナイロヴァらウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーが、「弦

“Die Mozartwoche 2021” opened online

毎年レポートをお届けしている「モーツァルト週間」だが、今年は御多分に洩れず、オンラインでの開催となった。ローランド・ピリヤソン総裁の今年の手腕やいかに。



もはやすっかりおなじみとなったアルグリッチとバレンボイムのデュオ。この音楽祭でも披露された ©Wolfgang Lienbacher



バルトリ(左)とバレンボイム。バレンボイムは協奏曲では弾き振りをを行い、「コンサート・アリア」では通奏低音をピアノで演奏した

楽四重奏曲第4番」、「フルート四重奏」、「クラリネット五重奏」をどれも珠玉の美しさで聴かせた。2公演目はトーマス・ヘンゲルブロック指揮バルタザール・ノイマン・アンサンブルで、「交響曲第1番」のあと、カタリーナ・コンラデーが「フィガロの結婚」のスザンナ、「魔笛」のパミーナ、「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナのアリアを歌い、「交響曲第41番《ジュピター》」で締めくくられた。

1月29日はヴァン・カイツク四重奏団が「デイヴェルティメント」K136、138、マキシミアン・クロマーを加えて「ピアノ四重奏曲第1番」二長調を演奏したが、前日のウィーン・フィルメンバーの熟練とはまた違った、若さにあふれた演奏で独自の世界を展開した。この日の第2公演は、シルヴィア・シュ

ヴァルトとマウロ・ベーター、マグダレーナ・コジェナーがリートを歌う「モーツァルティアーデ」だったが、企画力もドイツ語での表現力も不完全燃焼に終わった。「幻想曲」二短調も聴かせたピアノのエレナ・バシユキローヴァがいちばん光っていた。

最終日はアルグリッチとバレンボイムのデュオも

1月30日はモーツァルトが姉に宛てた手紙の朗読に音楽を絡める企画。モーツァルト愛用のヴァルター製ピアノを弾くマリー・ハウゼルをナンネルに、同じく愛用したコスタ・ヴァイオリンを弾くエマニエル・チュクナヴォリアンをモーツァルトに見立てたかわいらしいハウス・コンサートで、後日テレビでも放映された。そして個人的には今年のベス

ト・コンサートと言えるギエドレ・シユレキーテ指揮カメラータ・ザルトブルクとレグラ・ミューレマン、ルノー・カブソン、ジェラルド・コセの共演に興奮を覚えた。「交響曲第31番《パリ》」ではオーヴァーアクションに思えたシユレキーテの棒さばきだが、音楽の細部まで引き出すような表情と左手の音楽的な弧の描きかたにどんだん惹かれていき、ポジティブな音楽作りの虜になった。レグラ・ミューレマンの歌うモテット《踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ》に続き、「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏曲」では、歌手以上に歌心のあるカブソンと、コセの熟練されたヴィオラの包容力、その音楽的対話を引き立たせるオーケストラの美しい弱音で底力を見せた。《羊飼いの王様》から「アミンタのアリア」にはカブソンも加わり、最後はピリヤソンもバゲーノを歌うために呼ばれ、パミーナとの二重唱で楽しませた。

最終日は、マルタ・アルグリッチとタニエル・バレンボイムの連弾で、「四手のためのピアノ・ソナタ」ハ長調、同ハ長調、「アンダンテと5つの変奏曲」、「2台のピアノのためのソナタ」K448を聴けるありがたみは想像に難くないだろう。閉幕は、バレンボイム指揮するウィーン・フィルでチチェリア・バルトリが「コンサート・アリア」K505とツェルリーナのアリアを歌い、バレンボイムが弾き振った「ピアノ協奏曲第24番」、最後は「交響曲第38番《フラハ》」で、稀有な音楽祭となった。